



令和8年5月15日

各 位

住 所 兵庫県姫路市飾西38番地1  
会 社 名 フジプレアム株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 松本倫長  
(東証スタンダード・コード:4237)  
問 い 合 せ 先 IR・広報部 部長 三村崇裕  
電 話 番 号 079-266-6161 (代表)

特別損失（固定資産の減損損失、関係会社出資金評価損）の計上  
及び通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、令和8年3月期において、特別損失（固定資産の減損損失及び関係会社出資金評価損）を計上することといたしましたので、お知らせいたします。また、令和8年2月13日に公表した令和8年3月期の通期連結業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失（固定資産の減損損失及び関係会社出資金評価損）の計上について

当社グループが保有する固定資産について、収益性の低下を踏まえ将来の回収可能性を検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、令和8年3月期において2,027百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。また、当社の連結子会社であるプレマテック株式会社が保有する関係会社出資金について、「金融商品に関する会計基準」に基づき、189百万円を関係会社出資金評価損として特別損失に計上いたしました。これらは、資産の圧縮を行うことにより資産効率の向上を図るとともに、長期的な収益基盤の強化につながるものです。

2. 連結業績予想値と実績値との差異について

(1) 令和8年3月期の通期連結業績予想値と実績との修正（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	8,464	△9	4	0	0.03円
今回実績 (B)	8,115	△78	△68	△2,301	△80.53円
増減額 (B-A)	△349	△69	△73	△2,302	—
増減率 (%)	△4.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (令和7年3月期)	10,620	220	248	262	9.20円

(2) 差異の理由

当社グループの主力事業である精密貼合及び高機能複合材部門におきましては、車載関連、エレクトロニクス関連ともに最終需要の回復が鈍く、顧客の発注姿勢は年間を通じて慎重な状況が続きました。加えて、海外メーカーを含む競争環境の厳しさが受注面に影響を及ぼしたことから、売上水準は低調に推移いたしました。また、環境住空間及びエンジニアリング部門におきましては、中国をはじめとする一部地域の経済減速の影響を受け、装置販売を中心とした受注環境は低調な水準に留まりました。

これらの結果、当初および直近の見通しをいずれも下回ることとなりました。また、上述の特別損失を計上したことにより親会社株主に帰属する当期純利益は大幅に減益となりました。

以 上